

市民の皆様へ

新型コロナの中でも「みんなにやさしいまちづくり」
～ 市民の皆さまへ3つのお願い ～

お盆を間近に控え、お休みに入られる方もおられることと思いますが、新型コロナウイルスの全国的な再拡大によって、今年は帰省やご家族、ご親戚の集まり、あるいは夏の旅行なども見合わせておられる方も多いのではないかと思います。

飛騨市では8月7日現在、感染者は確認されておりませんが、先週、メッセージを出させていただいたように、現在の状況から考えて、いつ感染者が出てもおかしくありません。

本日の岐阜県からの発表によれば、先週来、夜の街関連だけではなく、家族内での感染事例が増えていることが報告されており、家族や顔見知りであれば安全であるとは言えない状況になっています。

ついでには、これまで同様、マスクの着用、手洗い、手や指の消毒を徹底していただくと同時に、このお盆の期間中、出かけられる際には目的地の感染状況を見て、ご家族やご自身の体調にも充分留意し、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、大人数での会食やパーティー、バーベキュー、カラオケなど、飛沫が飛び交う場を避けていただくようお願いいたします。

さらに、ご家族の中においても、帰宅したらすぐに手洗いをすることや、外出先の確認、毎日の体調チェックを徹底していただき、特に高齢のご家族への感染には充分注意してください。

しかし、このように気をつけていても、新型コロナウイルスは誰もが感染する可能性があります。

このため、市内では感染の不安とともに、「飛騨市で第1号になりたくない」という声が一段と聞かれるようになっており、ピリピリした空気が次第に強まっているように感じています。これが嵩じると、様々な誹謗中傷が起こってしまいます。

そこで飛騨市では、感染対策の徹底と合わせ、新型コロナの中でも、「みんなにやさしいまちづくり」を進める宣言を行うことといたしました。

皆さんに3つお願いをいたします。

まず1つ目、万が一感染者が発生した場合でも、感染者とそのご家族、関係者にやさしく接し、「お大事にしてください」「早く治るといいですね」などの温かい言葉を送ってください。

2つ目、医療や介護、保育など、新型コロナ禍でも、社会のために働かれる方々に対してやさしく接し、感謝と尊敬の念を持って、「ありがとう」の言葉を送ってください。

3つ目、町の中で、県外ナンバーや観光客の方々を見かけられた際にも恐れることなくやさしく見守り、むしろご自身の感染防止対策に努めてください。

以上3つのお願いをさせていただきつつ、それでも、誹謗中傷や嫌がらせ等が発生した場合に備え、市では「新型コロナ・誹謗中傷等相談窓口」を設置することといたしました。

万が一、新型コロナに関連して、心ない言動や行動、SNSの投稿、根拠のないウワサなどによって不快な思いをされた際には、市役所の相談窓口にご相談ください。いただいた情報は、全て飛騨警察署と共有し、迅速かつ厳しく対処いたします。

最後に、これから迎えるお盆の時期、油断することなく、万全の感染対策をして過ごされるよう重ねてお願いし、私からのメッセージといたします。よろしくお願いいたします。

令和2年8月7日

飛騨市長 都竹 淳也